

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 31日

事業所名 おひさまのたね療育園

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	0	活動毎に適切な訓練室を用意している。	長期休暇時の児発と放デイ利用児の活動スペースを工夫する必要がある
	2	職員の配置数は適切である	1	0	4		最低限の人数はいるが、きめこまやかな支援のため、増員を検討する
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	0	棚による仕切りの他、掲示物にも配慮している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	0	4		会議の時間を取る為、利用児童の時間調整をおこなっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	2	2		保護者の意向の聞き取りを行った上で、適切な評価表の作成をおこなう
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	2	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	0	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	2	0		専門性を高めるための研修や参加しやすい勤務体制を整える
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	1	外部機関で行った検査結果を参考にしている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1	2		標準化されたアセスメントツールがないため、何が適切かを見極め取り入れる
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	1	1	3		担当者だけでなく、全体で会議がもてるよう勤務時間と内容の見直しを行う
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	1	3	2		支援に関する設備やツールを導入し、変化をつける工夫を行う
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	1	他事業所の活動も参考にしている	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2	1	個別と集団、それぞれの時間を割り振っている	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	0	1	4		打合せのための時間を捻出するため、職員の採用や利用児童の時間調整を行う
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	1	4		打合せのための時間を捻出するため、職員の採用や利用児童の時間調整を行う
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	0	デイロボの活用	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	2	0	会議の場所を工夫し参加しやすい状況作り	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	2	1		ガイドラインの読み返しや、内容のすり合わせを定期的に行う	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2	0		より多くの職員が参加できるよう、勤務時間や内容の調整を行う
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	2	0	公式LINEを活用し、連絡の取りやすさを工夫している	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	0	0		該当児なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	2	1	これまでの資料の提供や担当者会議を設けている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	0	これまでの資料の提供や担当者会議を設けている	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	0	5		児童発達支援センターや発達障害者支援センターとのコネクションをつくる。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	5		地域との関わりを意識し、行事等の情報収集を行う
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	0	5		地域との繋がりを持つため、支援員等からも情報提供を受ける
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	2	0	公式LINEの他、送迎時の会話においても支援の意識をもつ	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	0	5		職員へのペアレント・トレーニングの研修機会を設ける
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	2	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	2	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	5		保護者の意向も聞き取り、適切な連携方法を模索する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	2	2	1	意見箱の設置の他、公式LINEからも受付をしている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	0	4		定期的な会報による情報提供の為、頻度やフォーマットを策定する
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	支援資料はすべて施錠している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	0	5		

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	保育園との合同訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0		